4階東病棟（回復期リハビリテーション病棟）の現状と未来

長　妻　節　美

キーワード：365日リハビリテーション；家庭環境；退院前の訪問
（雲南市立病院医学雑誌　2019; 16(1): 62-63）

はじめに

４階東病棟は回復期リハビリテーション病棟で、病床数は30床です。平成14年に開設し、現在は365日リハビリテーション（以下、リハビリ）を行っている病棟です。回復期リハビリテーション病棟では、入棟出来る疾患名、発症からの期間が決められています。疾患名によって、在棟期間も60日～180日と決められています。脳血管障害や大腿骨術後、外科手術後や肺炎後の廃用症候群等の患者様が急性期治療を終えられ、病状が安定し始めた発症から１～２か月の状態を回復期といい、この時期に集中的にリハビリテーション（以下リハビリ）を行うことで、残存した能力の維持低下を防ぎ、低下した能力を再び獲得できるよう取り組む病棟です。

新館でのリハビリテーションの実際

平成30年３月、新館が完成し、病棟内にリハビリ室が出来ました。廊下も他病棟より幅が広く作られ、実際の歩行訓練も棟内で行なえるようになりました。リハビリスタッフも病棟にいる状況でリハビリを行いながら、いつでも相談できる環境です。今までは、リハビリ室が離れており、患者様のリハビリの様子が見えない状況でしたが、現在は、毎日の様子を間近で見させもらえるようになりました（**図１**）。

新しく設備も整えられ、シャワー室の他に浴室も完備され、リハビリが進む中で、実際に浴槽へ入る訓練も行えるようになりました。リハビリを行いながら、患者様を取り巻く環境、方向性を確認してゆきます。毎日、リハビリスタッフ、看護師、ケアワーカーで患者カンファレンスを行っています。月１回、患者族へ、医師、看護師、リハビリスタッフ、相談員等でリハビリの状況を説明し、方向性の再確認、介護保険の必要な場合は申請や変更等アドバイスを行ってゆきます。リハビリが進んでいく中で、家庭環境（段差、手すりの位置等）の確認が必要な場合は、患者やその家族からの希望があれば、退院前の訪問としてリハビリスタッフ、相談員と共に、ケアマネージャー、福祉用具担当者等と自宅へ伺い、話し合いをしています。

今後の展望

これからも、退院後の生活を見据えながら、チームとして、ADL低下を防ぎながら安全な自宅での生活が送っていただけるよう、今後も在宅への支援がスムーズに、家族の介護の負担が軽減できるよう、ADLのアップを目指し取り組んでゆきたいと思っています。

そのためにも、病院の理念である「地域に親しまれ信頼され愛される病院」を常に描きながら、できることを実践し、患者様ご家族様に丁寧な対応に心掛け、チームワークを持ち質の良い看護、リハビリが提供できるよう情報を共有し、研鑽に努めてゆきます。

雲南市立病院看護部４階東病棟看護科
著者連絡先：長妻節美　雲南市立病院看護部看護科〔〒699-1221 雲南市大東町飯田96-1〕
E-mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp

図１　新棟回復期リハビリテーション病棟内リハビリテーション室

Present status and future perspective of the east fourth floor ward in Unnan City Hospital.

Setsumi Nagatsuma

Nursing care unit on the east fourth floor ward, Department of nursing care, Unnan City Hospital
Correspondence: Setsumi Nagatsuma, Department of nursing care, Unnan City Hospital〔96-1 Daito-cho Iida, Unnan, Shimane 699-1221, JAPAN〕
Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501
E-mail: kangobu@hotaru.yoitoko.jp